
バッド・エンド

ヒコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バッド・エンド

【Nコード】

N6709T

【作者名】

ヒコ

【あらすじ】

ツイッター上で細々と呟いたものの元
あとがきに代わりオマケ付加

（前書き）

あえて名前を出さずに作ってみたら二次創作になりきれない二次物に。

ご容赦ください。

ジャンル恋愛にしてみたけどホントに恋愛なのかなこれって。

喧嘩もした

すれ違いもした

遠回りも、傷付け合ったりもした

意地を張り合って

頑固になって

馬鹿らしくなって笑い合って…

気が付いたら

互いに互いが誰より大切になっていた

誰より聡いクセに誰より不器用で

面倒臭がりなクセに面倒見が良くて

どこまでも素直じゃない、優しい人

「私を守ると、言ってくれたのに…」

ぎゅ、と手を握り締める

いつか繋いだ彼の手の温かさを覚えている

それだけじゃない

一緒に歩いた道も

一緒に見た月も

陽に透ける髪も

広い背中も

照れくさそうに笑った顔も

何一つ欠ける事なく覚えてる

あなたの存在だけが、ここにはない。

想いが通じ合えた、心が繋ぎ合えたと思ったのは
私の独り善がりな感情だったのだろうか

どうして一緒に連れていってくれなかったのだろう

そこまで考えて、同時に理解する

彼はきつと私が傷付かないように「私の為」に一人でけじめをつけ
に行ったのだ

全然、私の為じゃない。

私の願いはあなたと共に在る事、それを全然解っていない。

私の為と謳っておきながら、それは結局、彼の独り善がりな想いで
しかない

本当に私の為を想うなら、最後まで一緒に、傍にいさせてほしかった

何があっても、あなたとなら乗り越えられると信じているから。

あなたも、私を信じてほしかった。

(後書き)

後を追おうと部屋を出かけた時、ふわりと何かが振ってきた

見慣れた、白

「あ…」

恐怖で思考が凍り付く

「やあ、迎えに来たよ。」

背後から聞こえた、愉しそうな声
思わず振り向くと予想通りの人がいた

「何故…あなたがここに」

「だって、君がいないとつまらないじゃないか」

この人を止めに行った筈の彼が戻らず
この人が私を迎えに来た
それはつまり

「あ、ああ…」

恐怖と絶望で目の前が暗くなる
それを知ってか知らずか、彼が手を伸ばす

「さ、行こうか」

そして私の意識は闇に沈んだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6709t/>

バッド・エンド

2011年10月9日03時51分発行